



## 41 日車大明神(西向)

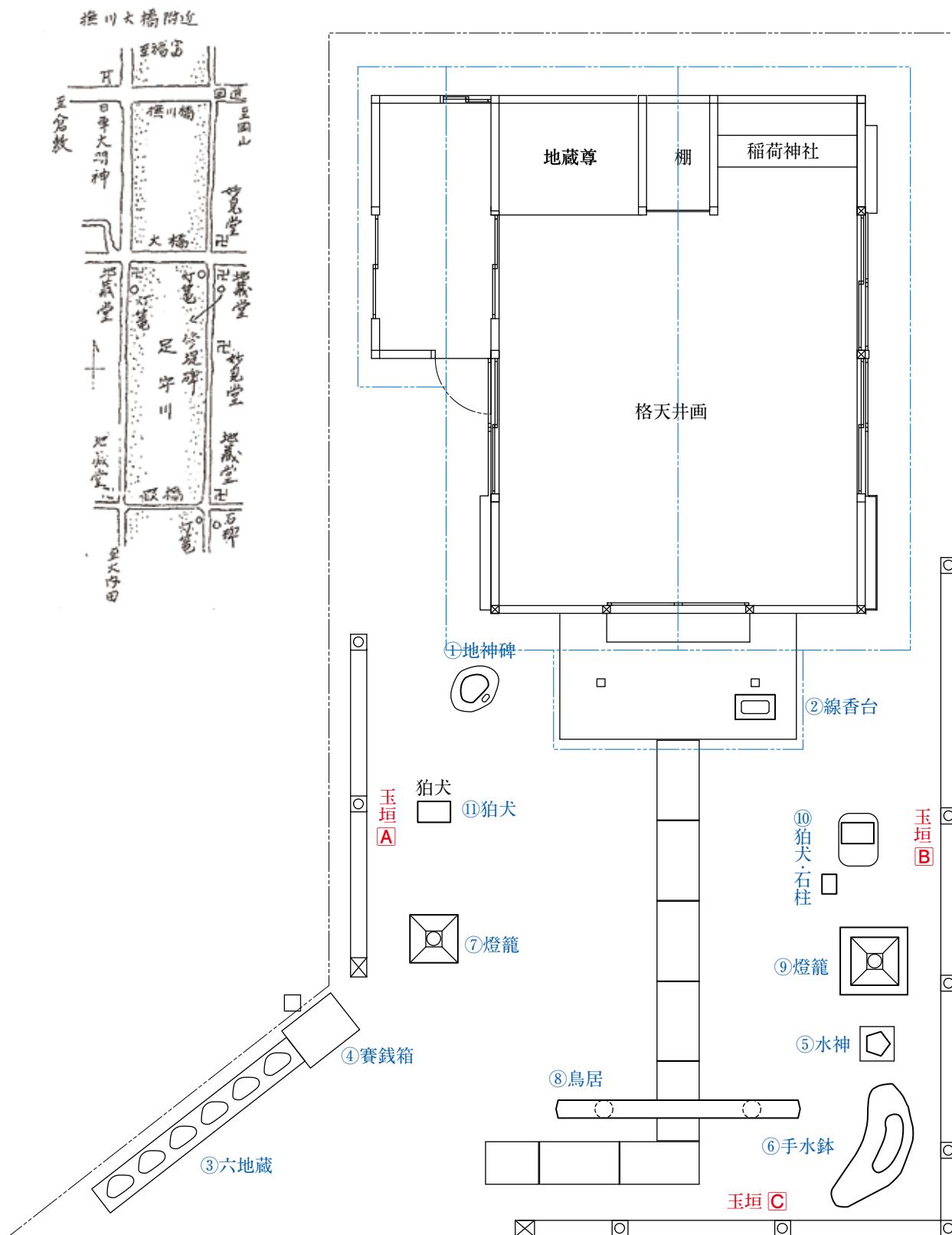
日車大明神(稻荷)・地蔵尊・地神・水神(撫川1063-25)



## 昭和40年代の足守川拡張工事による移転



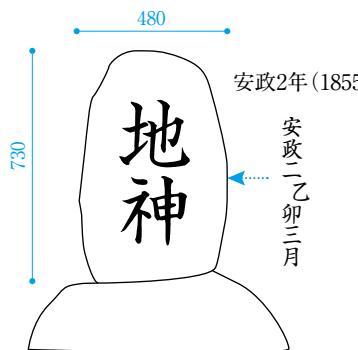
昭和41年の足守川周辺見取図(きびのさと No.96より)



この社は昭和40年代、撫川橋の西側に在った稻荷宮(日車大明神)と、旧大橋西詰にあった地蔵堂を、河川改修工事のため移転し、一つのお堂にお祀りした。

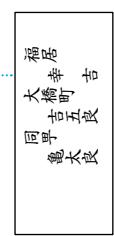
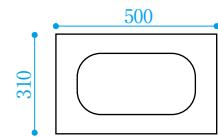
鳥居前の親柱には「皇紀二千六百年記念」の文字がある。鳥居も石燈籠も同じ時期(昭和15~16年)に築造されている。

## ①地神碑

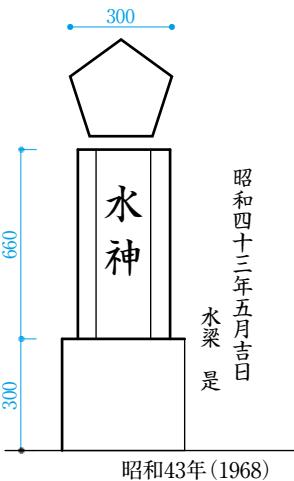


## ②線香台

銘板を再利用したもの。  
何に使われていたものか不明。



## ⑤水神



## ⑩狛犬・石柱



## ⑪狛犬

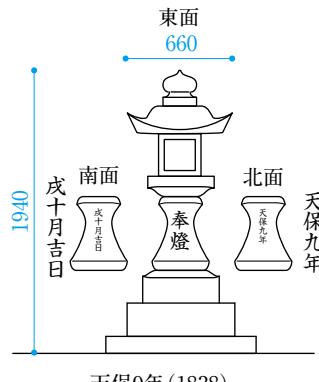


五角形の石柱は他に

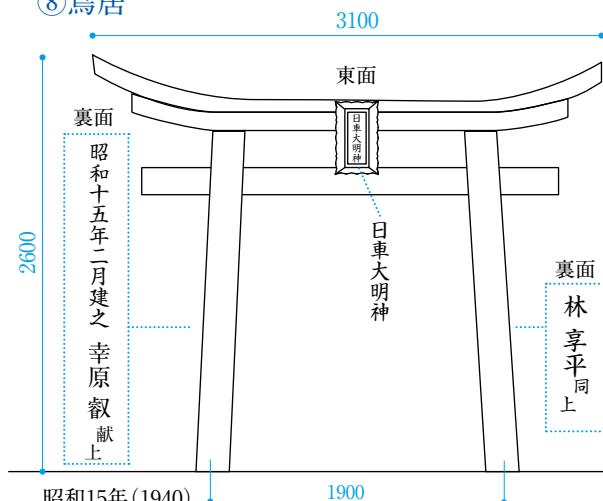
24大橋妙見宮と36平野の地神にある



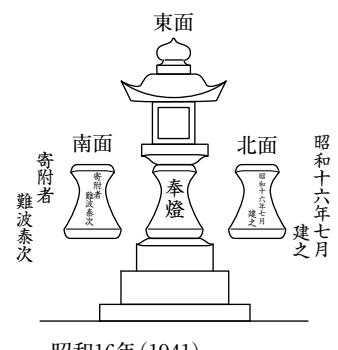
## ⑦燈籠(南側)



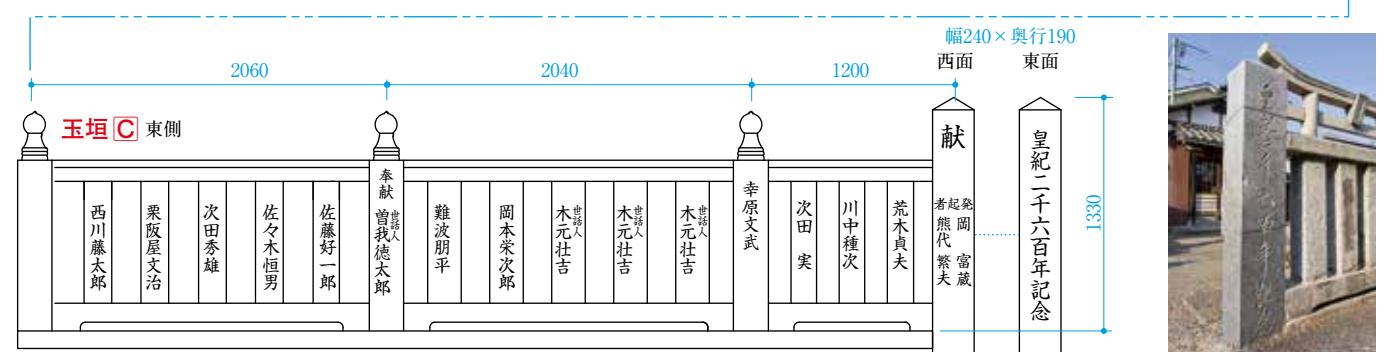
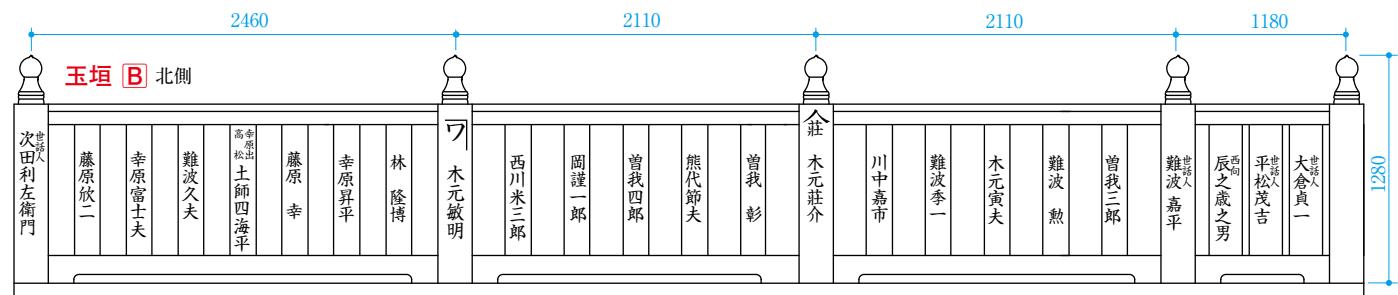
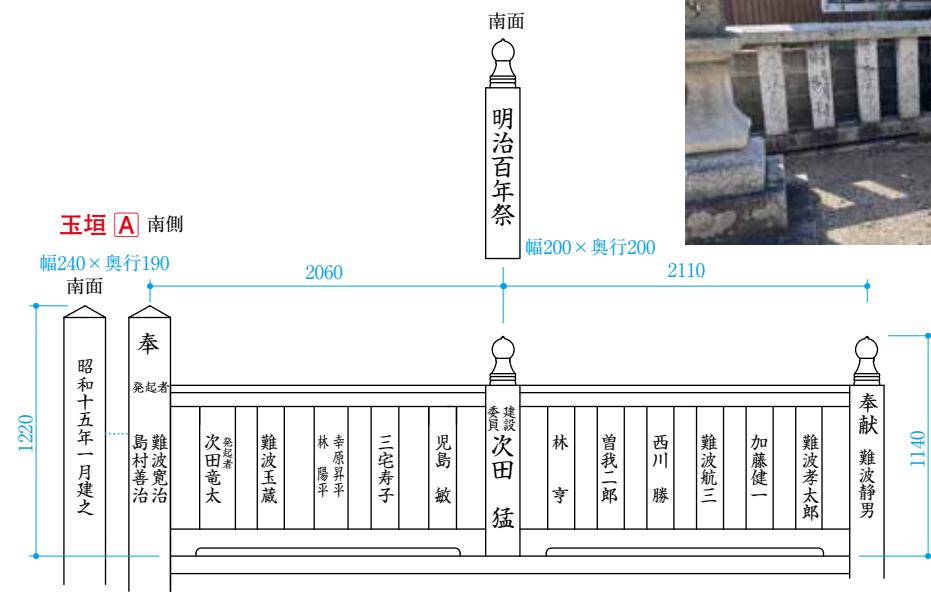
## ⑧鳥居



## ⑨燈籠(北側)



玉垣[A]

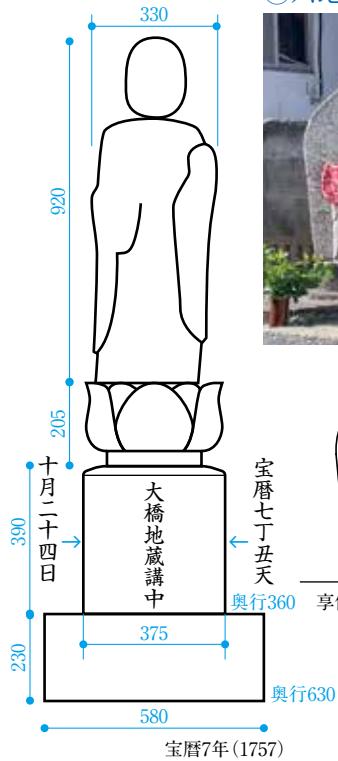


玉垣[B]

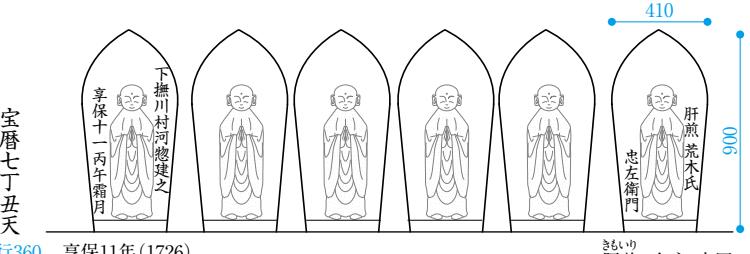


玉垣[C]

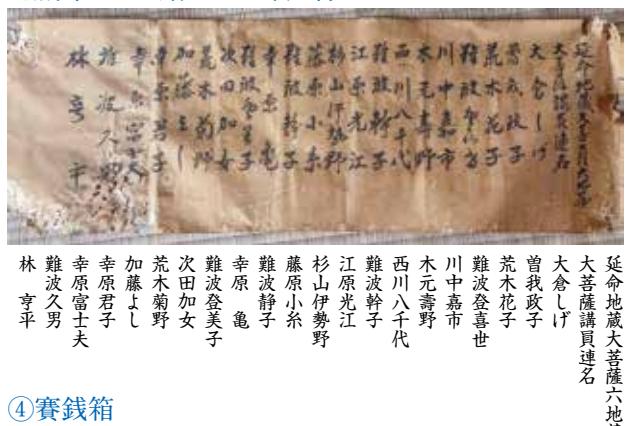
## 地蔵尊



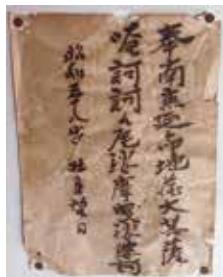
## ③六地蔵



## 地蔵尊の壁に貼ってある書き付け



## 暖簾

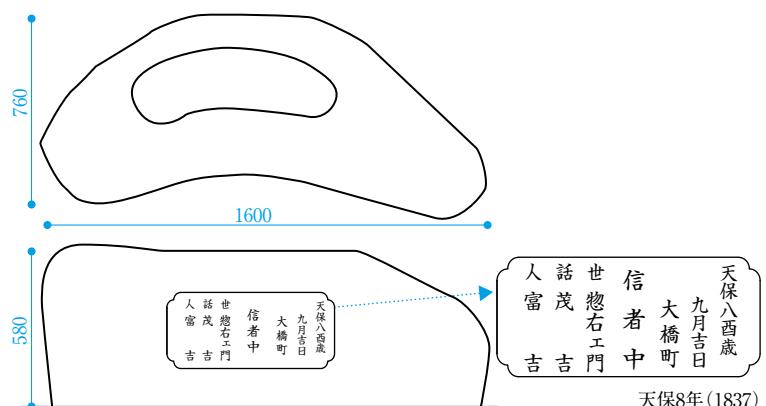


昭和58年(1983)壯月望日(陰曆8月15日)

奉納  
南無延命地蔵大菩薩之御宝前  
大願成就

馬報恩謝徳之  
昭和四十九年二月二十三日  
岡山市原尾島巳之生五十八才女  
昭和49年(1974)

## ⑥手水鉢



## 稻荷神社(日車様)



進者連名  
難波まん  
曾我ひさ  
荒木七五三吉  
金田重一  
西田増平  
小郷文治  
世話人

昭和八歳旧七月 荒木お七 寄進者連名  
高嶋まさ 難波勢伊

## 格天井画

元地蔵堂の天井にあったものを移設。天井画20枚のうち18枚は、庭瀬の「留青画会」(西本留青志主宰=庭瀬城址の碑銘を書いている)の人々によるものである。



## 日車様遷座

昭和43年4月3日、西向町内の私有地98平米を確保し、  
撫川橋西詰にあった日車様と、旧大橋西詰にあった地蔵堂を遷座。  
同年5月落慶式を行った。遷座の日は不明

地蔵堂の奉納者記録 ※「きびのさと」No.119より (この書き付けは所在不明)

奉納者	岡山屋政吉（東町の岡菊一の先）
現銀屋藤吉（狹川町所司利男の先）	
矢田部屋市三郎	
日畠邑	脇本長八
新地初治郎	橋本屋音吉（平川某の先）
	橋本屋源吉（平川治の先）
世話人	道具屋富三郎（平松哲男の先）
	鳥羽屋重兵衛（難波貞一の先）
岡山花尻	高田屋増吉（難波某の先）
児島屋藤三郎	
下挽川	大工音吉
児島忠吉	
町内	小郷卯三郎（小郷利郎の先）
	曾我宗五郎
	荒木仁吉
坪井元平	（坪井礼次郎の先）
木本愛介	（木本一郎の先）
難波伊三郎	（難波久男の先）
高島惣吉	（高島熊男の先）
難波靜夫	（難波恭文の先）
倉子城板屋	
世話人	岩崎市五郎
大橋若連中	

平成七年の改修工事の御芳志者（地元の前衛書道家曾我英丘の筆）

御芳志者	日車様
金拾萬円也	吉井 久善
金貳萬円也	熊代 毅
金貳萬円也	難波 泰文
金貳萬円也	難波 卓雄
金貳萬円也	幸原 未美
金貳萬円也	振角 隆成
金貳萬円也	佐藤 朝子
金貳萬円也	島村 次女
金壹萬円也	岡 三二郎
金壹萬円也	難波 弘威
金壹萬円也	西山 博昭
金壹萬円也	農業土木
金拾六萬円也	内会
金拾萬円也	西向十五町内会
金拾萬円也	扶川産業
材 料	
金	

